

増税より議員数削減

大久保潔重氏

(民主)



昨年は忙しかった。7月に参院が全会一致で可決、成立した歯科口腔(こうくう)保健推進法は、初当選以

来4年間ずっと立法作業に関わったので思い入れが深い。九州新幹線長崎ルートが実現することになり、長崎と佐世保が日本海側拠点港に選ばれた。どちらも議連の事務局を務め、中央に働き掛けてきた。

復興は進まない。一般のごみは受け入れる自治体を募り、放射性物質で汚染されたごみは処理技術の開発を支援したい。

たん大型公共事業をリセットしたが、必要なインフラ整備はやらなければならぬ。

気掛かりなのは増税論。それより国会議員の定数や国家公務員の人件費を削るのが先だ。地方への財源移譲も道半ば。国民と約束したことがいっぱいある。一つ一つ実現しないと。

ただ、国会がねじれていると思うように政治が動かない。こういう国難の時こそ強いリーダーシップが必要だ。おそらく(元代表の)小沢さんは裁判に勝つ。このまま野党との信頼関係を築けない状態が続けば(9月の)代表選に出る」と言うかも。もちろんわれわれからもお願いする。今はまだ逆風でも、トップ次第で風向きは変わる。

民主党は「コンクリートから人へ」と掲げ政権交代したので、いっ

個人的に力を入れたのは被災地のがれき処理。これをしないと